



県広域接種センターの開所式で、医療従事者らに感謝する市川部長(左)＝大津市打出浜のOh!Me大津テラスで

2回接種 県民85%完了

12歳以上 県、大規模会場を閉所

新型コロナウイルスのワクチン接種で、県内では二十一日までに十二歳以上の県民の85%が二回目を終えたことが、県のまとめで分かった。二十六日時点で全国の二回目完了率は76・5%で、全国平均を上回る水準となった。接種が進んだことから、市町の接種を補完するために県が七月に設置した大規模会場「県広域ワクチン接種センター」も二十六日、閉所した。

(森田真奈子)

県ワクチン接種推進室によると、二十一日までに百七万五千人が接種。人口に占める接種率は六十五歳以上が94・2%、四十一歳以上が86・8%、十二歳以上が74・2%だった。県内では三月五日に医療従事者、四月十二日に六十五歳以上を対象に接種を始めた。七月には警察や消防、福祉施設職員らを主な対象に、県が広域接種センターを大津市と彦根市に設置。八月下旬以降は対象を全県民に広げた。

接種した人は、医療従事者向けが約四万五千人、職場接種が約十一万八千人、広域センターが約五万三千人。県外の大規模会場などで接種した人を除き、八割程度は市町で接種したとみられる。

接種後に死亡した人は二十一人。うち三人は、医療機関が接種との因果関係があると報告した。二十六日には大津市のO

新型
コロナ禍
と闘う

大津支局
大津市京町四丁目
(〒520-0044)
077(523)3388
FAX 077(524)4447

彦根支局
彦根市古沢町661の2
(〒522-0007)
0749(22)1234
FAX 0749(24)5112

(広告) (47)5163

長浜通信局
0749(62)0436
FAX 0749(62)0437

近江八幡通信局
0748(33)3456
FAX 0748(33)3416

甲賀通信局
0748(62)0347
FAX 0748(62)0459

東近江通信部
0748(22)0331
FAX 0748(24)0702

木之本通信部
0749(82)3050
FAX 0749(82)4821

ニュースは上の電話へ

読者センター
052(221)0800

新型コロナウイルス1日当たりの新規感染者数

日	月	火	水	木	金	土
10月31日	11月1日	2日	3日	4日	5日	6日
1	00	1	0	2	1	1
7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
2	1	0	1	0	1	1
14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
1	0	2	3	4	2	0
21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日
2	0	0	0	0	0	0

10月29日
11月25日
ステージ1
レベル0

h!Me大津テラスで広域センターの開所式があり、県健康医療福祉部の市川忠稔部長が、運営に携わった滋賀医大呼吸器内科の中野恭幸教授に感謝状を手渡した。中野部長は「当初は生活に不可欠なエッセンシャルワーカーでも受けられない状況だった。一日でも早く打ちたい人に接種できたのは良かった」と語った。三回目接種に向け、県は四月に大規模会場を設ける方針。

2021. 11. 27 (土) 朝 29面 (地域)

大規模接種会場 県の2か所閉鎖

県は26日、大津、彦根両市に設けた新型コロナウイルスの大規模接種会場を閉じた。計5万3000人が利用した。

大津市は商業施設「Oh! Me大津テラス」、彦根市は県立大に7月に開所。教職員ら必須労働者から始め、8月には16歳以上の一般県民に対象を広げ、大津で約3万3000人、彦根では約2万人が接種を受けた。

大津会場で閉所式があり、医師を派遣した滋賀医科大学の中野恭幸・感染制御部長に県が礼状を贈った。中野部長は「県民の期待に応えられた。3回目接種にも協力していく」と話した。

県は、18歳以上が対象の3回目に対応するため、来年4月にも再開する方針（場所未定）。

2021年11月27日(土) 産経新聞 24面(滋賀) 朝刊

県の大規模会場 閉所

来春 3回目接種で再設置



閉所式では、接種作業に従事した医療従事者への感謝を込めたお礼状が手渡された—26日、大津市

新型コロナ

ワクチン

県は26日、県内2カ所に設けられた新型コロナウイルスワクチンの大規模接種会場「県広域ワクチン接種センター」での集団接種を完了し、閉所式を行った。

大規模会場での集団接種は7月に始まり、約4カ月にわたって運用された。いったん閉所となるが、県は来年4月に3回目接種向けの大規模会場を再び設置する方針。現時点で設置場所などは未定としている。

県内では、2回接種を終えた人が12歳以上の人口の85%に達し、今月中に接種対象者の85%に2回接種を終えるとしていた県の目標を達成した。このうち県の大規模接種会場では南部の「Oh!Me(オーミー)

大津テラス」(大津市)で約3万3千人が、北部の県立大体育館(彦根市)で約2万人が接種を行った。

南部会場で行われた閉所式では、県健康医療福祉部の市川忠稔部長が「県民へのワクチン接種に協力いただいたことを深く感謝する。センターが接種率向上に果たした役割は大きい」とあいさつ。医療従事者代表として滋賀医科大学付属病院感染制御部の中野恭幸部長にお礼状が手渡された。

新型コロナ 広域ワクチン接種センター運用終了 / 滋賀

暮らし・学び・医療 | 滋賀

毎日新聞 | 2021/11/27 地方版 有料記事 312文字

県が大津市と彦根市に設置していた新型コロナウイルスの広域ワクチン接種センターが26日、運用を終了した。接種実績は計約5万3000人に上った。

県は7月10日に同センターを開設。対象を教職員や警察官などに限定してスタートした後、県内在住か県内に通勤、通学する16歳以上の全ての人に拡大して接種を行った。期間中は2会場で延べ1871人の医療従事者が協力に応じた。

閉所式で県健康医療福祉部の市川忠稔部長は「今後も皆様と力を合わせて感染拡大防止に全力を尽くす」とあいさつ。お礼状を受け取った滋賀医科大病院感染制御部の中野恭幸（やすたか）部長は「一日でも早く接種したいという声に少しでも応えられて良かった」と話した。【諸隈美紗稀】

毎日新聞のニュースサイトに掲載の記事・写真・図表など無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。

画像データは（株）フォーカスシステムズの電子透かし「acuagraphy」により著作権情報を確認できるようになっています。

Copyright THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.